NPO 法人わくわくかん 編集 〒115-0044 東京都北区赤羽南 2-6-6 TEL:03-3598-3337





http://www.wakuwakukan.net/

2020年8月号 No.233

<u>??なぜリボン??</u>

生まれ変わった 再生したという意味の (Reborn)。 新しく生まれ変わる 「便り」にしたくて、名付けました。

就労支援センター北わくわくかんの現状

テレワーク,自宅待機,退職と様々に

前回は、「緊急事態宣言」の真っただ中での現状を報告 しました。その後、5月25日から「緊急事態宣言」も解除され、2か月がたちました。

就労支援センター北わくわくかんに登録のある方の生活も完全に元通りに一とは言えませんが、新しい生活様式を取り入れた形で戻りつつあります。

テレワーク、自宅待機、退職を余儀なくされる方など、 状況は人によって様々です。これは健常者、障がい者に関 係ないかと思います。

テレワークと出勤を交互 にしている方もいれば、基本 的にはテレワークの方もお り、従来通りに出勤されてい

6月頃から新規登録希望者数が増加 訪問対応変えた企業や ZOOM 面談

る方もいます。そんな中で、「会社で働く方が生活リズムが決まっていて働きやすい」、「自宅での仕事の方がリラックスして働ける」、「自宅待機中に生活リズムが乱れてしまい、たくさん食べて太ってしまった」などと、いろいろなお話を聞きます。その中で気になることがあれば、相談していただき解決策を一緒に考えて行っています。

これまで、訪問を受け入れてくださっていた企業でも、対応を変えられた企業も増加しています。そのため、職員は、訪問という形ではなく、電話での状況聞き取りや、まだ少ないですが ZOOM を使った面談をするケースも少しずつ増えています。

また、6月頃から新規登録希望者数も、5月の3倍に増加しています。これも経済活動の再開と関連していることでしょう。企業側も採用活動を再開しました。それに併せる形で、企業の見学・実習・面接等が再開されております。

しかし、このような状況ですので、まだまだ大人数を集めての面接会や企業説明会は行われておりません。その為、就職活動する際は、1 社ずつ応募していくことが多い印象を受けます。

この先、働き方も変わっていくかと思われます。

昨年は事務系 32 名、作業系 26 名が就労

昨年の就労支援センターの就職状況を見ると、事務系は 32名(55%)、作業系(清掃、介護、医療等)は26名 (44%)になります。事務

系では、テレワークが主の企業も増えているようです。テレワークと言っても、色々な形態があるようです。外勤型、

内勤型(サテライトオフィス)、通勤困難型などです。また、事務職が在宅などで行う場合は、仕事内容や業務指示、パソコンの貸出や、勤務時間の管理、勤務時間中の在席確認なども各企業によっても違っています。そうなった場合、どのような支援が必要なのか?

また、作業系では、コロナとは関係なく仕事の継続がな されている所が殆どです。生活リズムの崩れはないものの、 感染予防対策が新たに加わってきます。

センターも引き続き、来所の方には、検温、マスクの着用、手指の消毒をお願いしつつ、密閉をさけ、感染防止シート越しの面談等で対応させていただいております。

対人関係の問題、在宅でたずねる事の出来ない不安など、 その時の時代に即した形で就労支援センターとして、就労 の力になれれば、と思います。 (k・k)

◆ 7月31日(金) 「りぼん便り」編集会議 13:00~

◆ 8月15日(土) 共同連 wed 運営会議 10:00~

◆ 8月25日(火) 家族懇談会 16:00~(自立訓練室)

◆ 8月26日(水) 現場協議会 16:30~ (スカイブリッジ)

◆ 8月29日(土) ブルースカイ15:00~ はたらっくす16:00~(自立訓練室)

くわくわくかん 8月予定表>





1998 年 10 月 9 日 第三種郵便物認可 (毎月 3 回 8 の日発行) 2020 年 7 月 27 日発行 SSKU 増刊通巻第 **6801** 号

わくわく配食が一世ス

就労継続支援 A 型事業

北区赤羽南 2-6-6 TEL: 03-3598-0089 FAX: 03-3598-0089

私たちの仕事(1)

自立訓練からA型で働く配慮で仕事も順調

私は響卒業後から A 型事業所である、わくわく配食サービスで働いております。

配食での最初の頃は、仕事に慣れず、人間関係にも慣れず・・・、お休みをしてしまう事が多くありましたが、上司であるNさんの配慮があり、配置転換して頂きまして、現在の仕事となりました。

私の仕事の内容は、せんたく、そうじ、軽作業を担当しています。

せんたく➡厨房に入る皆さんの制服をせんたくしています。

白衣➡ズボンとぼうし、ネット➡エプロンの順番で、せんたくをします。

晴れた日には、屋上に干しに行きます。階段の昇り降りが辛い日々も、正直あります(笑)。でも、良い運動になっています。雨の日や曇りの空は、部屋干しです。せんたくの片付け作業もおこなっています。前の日に干した、制服の片付け作業も行ってます。

白衣とズボンをハンガーにセットします。(個人ごとに)エプロンは、たたみます。ぼうしとぼうし用ネットも個人ごとにセットします。それから更衣室に運ぶのも私の大事な仕事の一つです。

次にそうじですが、朝一番に始めます。現在は、新型コロナウィルス対策として、アルコールふきを一番にします。机やイス、ドアノブや手すりをしっかりアルコールでふいています。それが終わるとそうじ機をかけます。

わくわくかんの本部の部屋、面談室、配食の事務所、 配食の休けい室の順番です。そして、廊下、おどり場、 階段も忘れない様にします。そうじ機がけが終わりま したら、次にモップがけをします。順番は、そうじ機 の時と同じです。

本部のゴミ箱の確認することも忘れません。(せんたくをしている間にそうじします。) 水曜日と金曜日は午

後からも仕事な ので、更衣室の そうじもします。 ほうきでのはき そうじをして、 きれいなフキン で、ロッカーを ふきます。そし て、雑巾で床を ふき、更衣室の ゴミ箱を確認し て、終了です。 配食の事務所と 休けい室のゴミ 箱を確認して、 そうじの作業は 終了です。



なお現在、アルコールふきは、一日、2~3回しています。軽作業は、せんたく、そうじがおわり、時間ができたら、やるようになっております。チラシ折りをしたり、リボン便りを折ります。その他色々やってます。

さいごに今後の目標は、仕事と家事の両立をしっかりやっていきたいと思います。体調管理も忘れずに、 元気に頑張りたいと思います。

わくわくかんに感謝しております。ありがとうございます。今後共、宜しくおねがいいたします by (S・Y)

★夏季休業のお知らせ★

昼食 8月8日 (土) ~8月10日 (日) まで 夕食 8月8日 (土) ~8月10日 (日) まで

「スッキーニ」を使って





夏の野菜、ズッキーニ。きゅうりなどの瓜の仲間だと思われがちですがかぼちゃの仲間です。オリーブ油と相性抜群で炒めると栄養吸収率が上がる優れものです。

カリウムを多く含んでいることで塩分を排出してくれる働きから、高血圧症に効果があります。また、見た目からは想像できませんがビタミン C も含んでおり夏風邪の予防にも効果があります。

ズッキーニの豚肉炒め

二人分 豚のばら肉 200g ズッキーニ1本 オリーブオイル 大さじ1 ミニトマト お好み ショウガ ポン酢 塩コショウ



ズッキーニを1センチ幅に切り豚肉も同様に食べやすい大きさに切る。ショウガをすりおろしておく。フライパンにオリーブオイルをいれ熱し、豚肉を炒めて肉の色が変わるまで中火で焼く。最後にズッキーニを加えてさっと炒めて、ショウガ、ポン酢、塩コショウを加えて炒める。お好みでミニトマトを添えてお皿に盛ります。

自立訓練(生活訓練)事業 ボランティア響会

響(ひびき)

〒114-0032 北区中十条 1-2-18 北区障害者福祉センター4F TEL 03-5963-6888

花壇の植え替え

今回の花の植え替えは夏の花壇に早替り。アメリカンブルー、ブルーサルビア等の、5種類の花が注文。中央公園に面する花壇で肥料を混ぜた土で植え替えました。

梅雨入りの少し前の植え替えでしたが、上手く行きました。生育も良く夏の花壇らしい指向です。障害者 福祉センターに立ち寄られました

ら、是非、きれいなお花を見て行ってください。 (D・T)

6/9 に中央公園にある花だんの花を植え替えました。日当たりが良い場所なので、梅雨明けにどうなるか心配です。 (かずいぢぜん)



響のプログラムで、SSTというのがあります。 人と関わる上での、様々なコミュニケーションが学 べ、それを苦手としている私には、とてもタメにな るプログラムです。1対1で実践することが多いの で、少し緊張してしまいますが、皆さん優しく、ス タッフさんも見守っていて下さり、安心して訓練に 臨めます。 (よもぎ)

コラージュについて

「コラージュは何も考えないで作るのがいいのよ」と言われた(笑)のです。

私は考えながら作ってしまった。I 作目はとにかくカッコよくとか芸術的にとかそんなコトを頭の中で考えて作った。 出来は悪くなかったけど、ある意味計算したものだから 意外性はなく、「あーこんなモノだな」と自分でも思って しまった。2作目は、多少考えはしたけど、ちょっとてきとー に作ってみた。

評価的には2作目のほうが良かった。なるほど。コラージュとは考えてあれこれ作るより目についたものであれこれとはってみるのがいいのだとわかった。

(ぶーたん)



プチパーティー「パフェ作り」

シリアル、生クリーム、シューア イス、フルーツ、チョコスプレー をのせました。

私は缶詰からフルーツを出して、 小分けにする係でした。生クリー ムチームは、電動ミキサーを使っ て泡立てるのが大変そうでした。

食べてみると、シューアイスが冷たくて美味しかったです。シリアルもおいしい!スタッフwさんは「これで 100 円なんてすごいですよねー」と何度も言っていました(笑) (つんだ)

〈散歩・北とぴあ展望台〉

6月17日 (水) 北望まれまの た。スや ー、タワー、家 は



あっちこっちと、とても見晴らしが良かったです。 でも残念なことに富士山が見えませんでした。きっ と中にあったレストランから見えるようにうまくで きていると思います。

帰りは名主の滝にも寄りマイナスイオンを沢山あび て気持ち良かったです。

足の悪い私は往復歩けるか心配でしたが無事に帰って来ることもできて自信もつきました。とても楽しく、素晴らしい一日でした。 (太陽)





響の作品展 SUMMER SUMMER

3





就労移行支援事業

リボーンプロジェクト

〒114-0032 東京都北区中十条 1-2-18 北区障害者福祉センター4 F Tel: 03-5963-6888



出歩くのも怖い「コロナについて思うこと」

コロナの感染者数が増えていって考えることは、このまま 感染者が増えていって解決策もないままだとやはり少し不 安を感じます。この不安は在宅勤務にまたなるのではない かということです。小池さんが何か良い策を案じるのを期待 してしまいます。

毎日感染者数を確認するのが日常になってしまいました。 ウィルスが蔓延する世界を考えたことはありますが、こんな 日常になるなんて考えられなかったです。換気をするために 窓を開けっぱなしにして、マスクが手放せない日常は想像

体力の低下やゲームに 「コロナの自粛期間が明けて」

コロナによる自粛期間が明けてから色々な事が影響に出てきました。まずは体の面についての影響、コロナ自粛期間中で体力の低下、睡眠をとる時間が多くなった、久しぶりの活動に体が鈍ってるなど人それぞれではありますが色々な影響が体に出ていました。

続いて、ゲーム等遊戯をする時間がどうしても増えが ちになっている分それもまた影響にでている感じでし た。家庭用ゲームや携帯ゲーム辺りが多くしめている感 じです。これからは調子を元に戻せるように工夫して行 ったり、ゲームの時間はほどほどにできたりすれば良い かなと思いました。

生活習慣の乱れもありました。いつもと違う日常を送っていた分生活習慣が乱れて体に支障を起こすこともありました。頭がボーっとする、体のだるさ、日中の眠気など様々、生活習慣の乱れを元に戻すのも苦労です。(M.T)

以上に辛く、予想することもできませんでした。また、いくら夜の街で増えているといっても、このまま感染者数が増えると、夜の街に出なければ良いというわけにはいかないと思います。いろんなところで増えると思うので、出歩くのも怖くなります。買い物が好きだったので、悲しいです。外に出るのが怖くなって、買い物もたまにはしますが、コロナが出てくる前のような気持ちは持てなくなりました。なんとなく怖い感じですし、人の目も気になります。コロナが早く収束して前のように少しでも穏やかな日常が帰ってくるのを願って止みません。(H.I)

6/23 <Wさんの小話> 『中国語のあれこれ ~中国語の漢字~』

響の皆さんと一緒にプログラムを行いました。 Wさんが中国語に関する3択クイズを10問出して くれました。

例えば、「兴奋」は、日本語ではどの単語になる でしょうか?

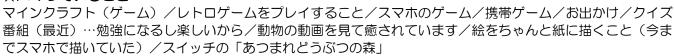
A: 準備 B: 厳重 C: 興奮 ちなみに答えは、Cの「興奮」です。

とても分かりやすい解説でしたが、W さんのうっかりで、次のクイズの選択肢の1つを解説してしまって3択クイズが2択クイズになってしまいました。私は、いち早く気が付いてWさんにツッコミをいれました(笑)。

難しかったけど、皆さんと盛り上がって楽しかったです。(Y.I)

リボーン訓練生に「今ハマっていること」「息抜きの方法」について聞いてみました!

★ハマっていること



★息抜きの方法

寝る(スマホの画面は見ない)/昼寝/インターネット/散歩がてらの買い物/散歩/コーヒーを飲む/買い物/ゲーム(ストレス発散になるから)/とにかく寝る/お酒を飲む/こまめに休憩を取る/深呼吸/リボーンに行くこと

初の家族懇談会一「当事者と語る」

6月30日、2020年度に入って初めての家族懇談会を 実施しました。

今回のテーマは、「当事者と語る」です。当法人の A 型事業所「わくわく配食サービス」で働くほか、障が い当事者の自助グループ

「トライ・ザ・ブルース カイ」の代表として活動

発症してからの実体験M氏の体験に感動

をすると1日1100円貰えた。自分にとっては良い経験だった。」「家族が伝えづらいことでも、ピアカウンセリングだと伝わる場合もある。」など、利用できるサービスに関する情報提供がありました。また、M氏

のお話を受けて、ご家族 の方もご自身のお気持ち についてお話されるきっ

をされているM氏をお招きして、「自己紹介」「病気の体験談」「就労の体験談」「生きがいのダーツ」「自立について」という5つのテーマに沿って、精神疾患を発症してから今までの実体験について詳細にお話くださいました。ご参加頂いた皆様、誠にありがとうございました。

質疑応答の際には、「社適(社会適応訓練事業)は、仕事

かけになり、ご家族同士での会話も生まれました。この度は、大変有意義な家族会になりました。ご参加頂いた皆様、誠にありがとうございました。

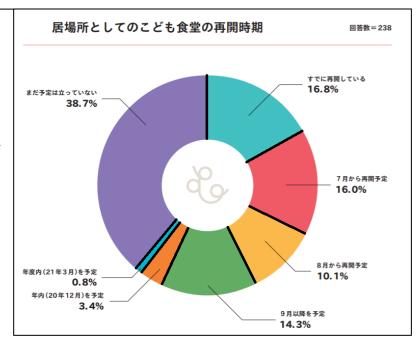
次回は、8月25日に開催する予定です。同月上旬にご 案内をお配りいたしますので、もしご興味がありまし たら、ぜひお気軽にお問い合わせください。 (スタッフG.N)

こども食堂 年内再開 60%か 未定の理由はコロナ次第の不安

コロナ災害で閉鎖に追いやられた多くのこども食堂はどうなっているのだろうか。NPO 法人 全国こども食堂支援センター・むすびえ(理事長・湯浅誠)は、6 月下旬に実施した 37 都道府県 238 団体の「子ども食堂の現状」を発表しました。

すでに再開しているこども食堂を含めて徐々に再開が予定され、約6割が今年中の再開を予定している。一方で、約4割はまだ予定が立てられずにいる。その一番の理由は「新型コロナウイルスの状況次第」と第2波の不安。

- ・6月までは居場所としてのこども食堂は約3割とむつかしかったが、7月以降、5割以上、の再開を予定している。
- ・居場所としてのこども食堂が開催できない際には、お弁 当や食材等の配布、宅配をしているところが多かった。



・7月以降、「こども食堂」+「お弁当や食材等の配布・宅配」の活動を両立して続ける団体が全体の3割(72団体)にのぼる。こども食堂+ α の活動の内訳(複数回答可)では「お弁当の配布」が43団体(60%)、「食材などの配布」が50団体(70%)、「食材やお弁当の宅配」が23軒(32%)となっている。

- 「はたらっくす」に参加して-

「はたらつくす」には、今まで何回か参加しています。精神障害者の就労という事はいくつかの課題の中で、かなり難しい課題になると思います、そして国からの求められる事として、重点を置かれています。その中では「たらつくす」の役割としてはとても重要な事がたくさんあると思います、私としては参加している人たちの就労に関する、悩み、喜び、等々、を聞き。色々なことを勉強させてもらっています。

「はたらっくす」の場所でたくさんのことを、はきだしたり、話を聞いたり、一緒に悩んだり、又情報源の場所だったりとしています。皆さんの話でこれからの就労の糧とさせていただいております。これからも宮澤さんを中心として「はたらっくす」のさらなる実りある活動を期待しております。

佐藤一幸(NPO 法人全国精神障害者団体連合会副理事長)

新規事業を立ち上げる構想で全員議論

わくわくかんが行っている事業の多くは、障害福祉サービスを利用しているものですが、株式会社による就労移行支援事業が乱立するなど、近年障害福

祉サービスを取り巻く環境は、 非常に厳しくなっています。そ の中で、わくわくかんの経営状 況も、以前と比べて厳しさを増 していると言わざるを得ませ ん。

こういった苦境を打開する ために、障害福祉サービスに 過度に依存しない法人運営を

確立しようと、新規事業を立ちあげ

る構想が浮かび上がってきました。高齢者向け住宅と事業拠点を組み合わせた地域づくりに、非常に大きな実績を持っていて、北区に隣接する豊島区でもプロジェクトを展開している「コミュニティネットワーク協会」と連携しつつ、今年に入って1月、3月、5月、6月と4回にわたって職員研修が開催されました。当初は、戸惑う職員も多かったですが、新しいことに取り組もうという機運が、少しずつ生まれてきているように感じます。

6月の職員研修では、3グループに分かれて、K

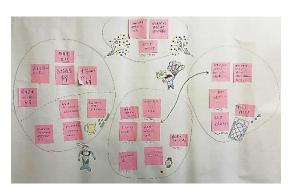
J法を使ったワークショップを行いました。常勤の 職員は全員参加し、理事の方や当事者の職員も合わ せ、20 名以上が参加して大変熱気のあるワークシ

ョップとなりました。わくわくかんが引き継いでいくべき長所はどういうものか、新規事業はどういう性格のものにすべきか、非常に活発な議論ができたように思います。

6月の職員研修後、新規事業について話し合うプロジェクトチーム会議が立ち上がり、

より具体的な事業内容について、話

し合いが持たれています。新規事業の拠点を置く場所や、事業の具体的内容については、企画案がいくつか出されている段階で、これから秋にかけて詰めていくことになるでしょう。コロナウィルス感染症の影響が、どのようになるのか全く不透明な状況ですが、わくわくかんの培ってきた長所を守りつつ、新規事業の立ち上げ行程が、スムーズに進められていくことを願っています。 (w)



ワークショップの成果の写真

これまで3回の新規事業プロジェクトチーム会議が行われました。プロジェクトチーム会議より前に行われた 職員研修のワークショップでは、模造紙に「新規事業に

求めること」を書いて、付箋をグルーピングしました。そして各グループにタ

イトルをつけるという作業をワークショップで行いました。新 規事業ミーティングでは、その タイトルから、参加者それぞれ の想いに合うものを1人5つを

ピックアップしました。たとえば「先駆性」「対等性」「多

様性」「黒字化」「地域性」など。そしてそれを基に、どんな事業を行っていきたいかをそれぞれの参加者が発表

し合いました。そして新規事業理念(案)が まとめられ、現在は事業の内容を話し合っ ています。新規事業の話が出て以来、こ れまでリサイクル事業、コミュニティカ フェ、葬祭事業、除菌清掃事業、クリー ニングなど、数々のアイディアが生まれて

きました。事業所見学と話し合いにより、これからより 具体的なイメージを膨らませていけたらと思います。

(F)

1998年10月9日 第三種郵便物認可 2020年7月27日発行 SSKU (毎月3回8の日発行) 増刊通巻第6801号

ジャン・ウォンボンさんを**悼む** 現場を大事にした研究者



ジャン・ウォンボンさん

ジャン・ウォンボン 先生が、4月17日 (金)の明け方、亡くな られた。

私たちが思い出すのは2011年、共同連が「社会的事業所促進法」を求めて、大阪と東京で「第2回日韓社会的企業セミナー」を開いた時に、国会内でジャン・ウ

ォンボンさんが韓国で成立した「社会的企業育成法」で認証された353の社会的事業を背景に基調報告を行なったことです。「社会的企業は市民社会において多様な社会的必要を充足させるための国家と市場の空白をうずめる最も積極的な形態の共同生産の主体」と歴史的意義を強調されました。この時わくわくかんはその事務局を担いました。それは今、東京都のソーシャルファーム条例の具体化として問われています。

ジャン・ウオンボンさんの主な著作

「社会的経済の理論と実際」/「社会サービス領域において社会的企業の役割と展望」/「社会的経済の代案的概念化」/「社会的経済と協同組合運動」/「社会的企業の制度的同型化の可能性と克服方案」/「韓国における社会的企業の実態と展望」/「韓国の労働統合社会的企業に関する研究」/「障がい者のための労働統合社会的企業の役割と展望:認証社会的企業を中心に」など多数。

韓国の大学院に通っていた当時、私はかなりの野心家で、 日本に帰ったら障害ある仲間と共に社会的企業を始めよ うと、その準備のため論文を書いていた。

その時、通っていた実習先が、共同連と交流関係にある 「障碍友権益問題研究所」で、

研究所のスタッフにくっついて参加した「社会的経済連帯会議」という在野の活動家研究家の集まりで出会った

「社会的経済連帯会議」という在野の 活動家と研究家の集まりで出会って

のが、ジャン・ウォンボン氏だった。**2005**年の春頃だったと記憶している。

ジャン氏は、博士課程で社会的経済の概念構成について 研究しており、ヨーロッパ各国と韓国の社会的経済を類 型化し、各国の状況を分析、それらが何を意味するのか を論文にまとめていた。折しも、ノ・ムヒョン政権が貧 困や失業者対策として社会的企業に着目し、育成法案を 準備している時期であり、ジャン氏の研究は、政府主導 ではなく、市民社会が中心となって貧富の格差を克服するための運動レベルで展開されるべきであり、政府の下請けでも市場の穴埋めでもない、新しい代案モデルとなるべきと、在野で活動する人達の意識喚起を促す強力な

メッセージと理論的根拠を与えていたように思う。

今は大学で教鞭をとっている 院の同期も、「研究者たるもの、 現場を離れてはいけない」と、

兄さん(ジャン氏)から口癖のように諭されたと話していた。ジャン氏ほど、現場を大事にして現場と共にあり続けた研究者を、私は他に知らない。みんなに優しく、誠実で、現場のために研究を続けてきた人だった。私にとっては、なんでも相談できるお兄さんのような存在でもあり、頼りになる先輩、尊敬する先生だった。訃報はあまりに突然で信じがたく、今でもまた会えるような気がしてならないが、故人のご冥福を心よりお祈りします。

(わっぱの会 清川千春)

埼玉県で「ケアラー支援条例」

コロナ災害で大きな打撃を受けているのは医療と介護の現場です。医療現場の危機はよく知られていますが、介護、とりわけ訪問介護は人手不足もあって深刻なまま放置されています。そこでにわかに注目されているのが「ケアラー」の存在です。

ケアラーとは「ケアを広範囲にとらえ、要介護高齢者や身体的・知的・精神的などの障がい者の介護、難病などの 看病、あるいは病児や障がい児の療育、さらには依存症 やひきこもりなどの家族や知人の世話や気づかいなど、 多様なケア役割を担っている人」のことを言います。彼ら /彼女らは、社会連帯を引き受けている大事な存在です が、その社会的身分は大変不安定です。その安定的な生 活を守ることは大事な課題になっています。

3月21日、埼玉県議会は、市民共同提案の議員提案の形で、「ケアラー支援条例」を全会一致で可決、公布の日から施行しました。18歳未満のヤングケアラーの支援も強調、適切な教育の機会も強調しています。

しかしこの条例は、「当該従業員がケアラーであると認められた時」には、当人の意向、健康状態、その生活環境等に支援をうたうものの労働待遇については触れていません。むしろ介護労働者としての待遇改善に進むことがもっと明示される必要があるのではないでしょうか。

(H)

1998 年 10 月 9 日 第三種郵便物認可 2020 年 7 月 27 日発行 SSKU

(毎月3回8の日発行) 増刊通巻第6801号



就労支援センター北わくわくかん

登録者(2020年6月末) 947名 就職者 3人(事務1・軽作業2人)

先月 ご協力いただいた皆様

東京都労働局•東京都精神保健福祉民間団体協 議会 • 北区障害福祉課 • 北区健康推進課 • 北区 社会福祉協議会・北区障害者福祉センター・ハ ローワーク王子、池袋、飯田橋、上野・東京障 害者職業センター・東京しごと財団・東京都立 精神保健福祉センター・東京都立王子特別支援 学校 • 北区社会福祉協議会 • 北区教育委員会 • 和希君を支える会・津久井やまゆり園事件を考 え続ける会・社会福祉法人月山福祉会・NPO法 人障害者の職場参加をすすめる会・企業組合ワ ーカーズコレクティブキャリー・NPO 法人ゆ め風基金・あしたや共働企画・反貧困ネットワ ーク・特定非営利活動法人のらんど・NPO法 人ソーシャル・クリエイターズ・企業組合あう ん・共働事業所よって屋・シャロームの家・ NPO 法人太陽と緑の会・認定NPO法人やま ぼうし・エルコープ協同組合運動研究会・人々 の経済政策研究会・新型コロナ災害緊急アクシ ョン・だるま舎等、お世話になりました。

グループホームわくわくかん

6 月上旬に交流会を開催する予定でしたが、新型コロナウイルス感 染予防のために中止になりました。交流会は、一緒にGHで生活し ている方々で顔合わせをして、困った事があった時に助け合えるよ うな関係を作ることを目的に実施しています。今回は折角の機会が 潰れてしまいましたが、緊急事態宣言前に一度、実施できたので良 かったです。前回の交流会では、緊急時の対応についての話し合い など、入居している方のご意見を率直にお聞きできる機会になりま した。引き続き訪問も極力控えさせて頂いている状況ですが、また 皆様からお話を伺える機会を持てるようにしたいです。

▼編集後記▼

事件から4年目を迎えて「津久井やまゆり園は誰のものか?」をテ ーマに考え続ける会が今年に入って3回目の集会を開いた。「便り」 の発行日時と重なったためその内容は次号に掲載したい。大型施設・ やまゆり園における利用者支援において日常生活はどうだったか、 はしっかりと問われなければならない。身体拘束などの虐待行為の 告発を受ける形での検証委員会は、中間報告は提出されたもののど うなったのだろうか。そこへ難病の筋萎縮性側索硬化症(ALS) で在宅介護を受けていた女性が薬物を投与し殺害され医師 2 人が嘱 託殺人で逮捕された事件が起こった。難病ゆえに安楽死を望まざる を得ない話が一方的に報道される社会とは何なのか。ここでも当事 者が追い込まれている日常性を支える社会の闇が問われている。

発行所 郵便番号 157-0073 東京都世田谷区砧 6-26-21 特定非営利活動法人障害者団体定期刊行物協会 定価 100円(会費に含)